

ふるべ

手稲東中学校より

第11号 平成29年12月1日

札幌市立手稲東中学校

札幌市西区西野2条5丁目3番1号

電話 661-3363 FAX 661-3858

<http://www.teinehigashi-j.sapporo-c.ed.jp/>

「合唱コンクールから学ぶこと」

音楽科 横田 拓己

11月17日(金)、多くの保護者や地域の方々が見守る中、開校70周年記念合唱コンクールが行われました。私にとって、教員として迎える初めての合唱コンクールとなりましたが、生徒の合唱に対する情熱と音楽を迫及する姿勢は、想像をはるかに超えたものでした。また、コンクール直前の1週間は、各学級の合唱が大きく変化していくそのスピードと集中力に大変驚かされました。

1年生は、入学してからわずか半年という短期間で歌う基本を身につけ、それらを土台としたていねいでまとまりある演奏を披露しました。その歌声は聴く人の心を十分に惹きつけました。2年生は、課題曲の「ふるさと」でア・カペラに挑戦。ピアノに導かれることなく自分たちの声だけでハーモニーをつくり音楽を表現することの難しさを感じる一方、その楽しさを少しずつ感じているようにも思えました。また、指揮者と伴奏者の意識が日を迫うごとに高まっていったことは、最高学年を迎える来年度の演奏へ期待が膨らみます。3年生は、各学級のカラーがよく表れたレベルの高い名演奏が続きました。豊かな響きに裏付けされた深い音楽表現からは、この曲をこう歌いたい、という強い意志を感じました。また、お辞儀の仕方や山台での立ち姿など、演奏以外の面でも後輩に立派なお手本を示してくれました。どの学級も当日を迎えるまでの取組の中には、様々な困難があったと思います。

学級内がなかなかひとつにまとまらないもどかしさを感じたり、何度練習を繰り返しても決まらない音程やハーモニーに嫌気がさしたりと、いくつもの大きな壁が立ちはだかったと思います。しかし、どのような状況下でもあきらめることなく仲間を信じて牽引し続けた人がいて、その人を支えた人たちがいて、学級全員が協力し合いながら作りあげた作品は、誰ひとり欠けても成り立たなかったということを忘れないでほしいと思います。

今回は70周年記念ということで、本校を昭和49年に卒業された津田尚先生(現琴似中学校教諭)を特別審査員としてお招きしました。当時の学校周辺の様子や、校歌が斉唱から混声三部合唱になった経緯など、大変興味深いお話をいただきました。講話の後に津田先生の指揮で歌った壮大な校歌は、手稲東中学校の合唱の原点と歴史の重みを感じさせるものでした。合唱コンクールを通じて、私の心に深く刻み込まれたことは、子どもたちの互いを尊重し認め合う心、高みをめざして努力する姿、そして東中生としての合唱に対する誇りです。3月の卒業式、1年間の集大成として、すてきな全校合唱が響き渡ることを期待しています。

合唱コンクール 結果

どの学級も徐々に強まる団結力や本番までの真剣な取組が素晴らしかったです。合唱の審査基準により以下のように賞が決まりました。大きな力の差はなく、審査員も悩んでいました。

	最優秀賞	優秀賞
1学年	2組	3組
2学年	4組	1組
	優良賞	5組
3学年	3組	2組
	優良賞	1、4組

3年3組

2年4組

1年2組



最優秀賞

ドルチェハーモニー賞 7組

ドルチェハーモニー賞～7組

指揮者賞～厚谷竜稀くん(3年3組)、力石 晃くん(3年2組)

1年2組 増山遙那さん

私は小学校6年生の時に、この中学校の合唱コンクールを見にきてすごいと思いました。もともと合唱が好きではなかったけれど、「来年こんな歌を歌いたい」と思いました。今まで小学校で言われてきたことと違う姿勢や口の開け方で歌うように意識して練習に取り組みました。自由曲の空高くでは伴奏をすることになり、積極的に練習をするようになりました。指揮者に合わせてひいたり、みんなが歌いやすいように強弱やスピードをつけるのが難しかったです。本番はいつもよりテンポが速くなってしまったけれど2組の素敵な歌声を響かせ、最優秀賞をとることができてとてもうれしかったです。今考えると、私がこんなに力を入れて学校行事に取り組んだのは初めてかもしれないと感じるくらいでした。教室練習も含め、素敵な思い出になりました。

2年4組 澤田ななみさん

私は合唱コンクールを通して大切なことを改めて学ぶことができました。それは返事です。練習を始めたばかりの頃は、パートリーダーなどがアドバイスをしたり、プロジェクトの人が移動などの声かけをしても少人数の人しか返事をしていなくて、アドバイスや声かけをしても聞こえていないか不安になったりしました。でも、本番が近づくにつれ、クラスの意識が高くなり、返事が多くなりました。アドバイスをすると「ハイ」という声が聞こえたり、移動の声かけをすると、「移動だよ」など、まわりに伝えてくれたりしてとてもいい雰囲気でした。いい雰囲気だとアドバイスも増えていきました。こうしたクラスでの返事があったから4組で目標にしてきた最優秀賞を頂くことができたのだと思います。これからの生活でも返事を大切にしていきたいです。

3年1組 佐々木レナさん

今回の合唱コンクールはとても充実したものになりました。テストが多く、時間が少ない中でしたが1回1回の練習に集中して取り組むことができました。そんな中で自分の改善すべき点を見つけ、よりよいものを作り上げていくのが難しかったところでした。日々の練習を通して合唱の技術を磨くだけでなく、学級の団結力も強くすることができたと思います。最後にはとても良い演奏ができました。そんな演奏が行えたのはプロジェクトチームのみなさんのおかげです。ありがとうございました。今年の合唱コンクールは最後でよいものを作り上げることができました。この経験で知った団結力をこれからの生活に生かしていきたいです。

12月の行事予定

日	曜	主 な 予 定
1	金	7組お楽しみ会（昼休み）安全衛生の日
4	月	①②③④水⑤ 全協
5	火	
6	水	①②③④ 3年朝学習 募金活動①
7	木	①②③⑤ 3年朝学習 募金活動② 学校徴収金再引落日
8	金	①②③C金④3年朝学習 募金活動③
11	月	特特特学 3年学年末テスト （技・家・保体） 募金活動④
12	火	月①②③④
13	水	2年薬物乱用防止教室（6校時）
14	木	
15	金	火①②④⑤全校道徳「国際理解」
18	月	職員会議 食育学活（5校時） 完 再
19	火	①②③④⑤B火⑥ 2年学年集会（6校時）
20	水	学期末清掃①（放課後） 全校ジャージ登校 1年学年集会（6校時） 3年得点通知表配付
21	木	学期末清掃②（放課後） 全校ジャージ登校
22	金	
23	土	天皇誕生日
25	月	A金④⑤・終業式・学活（5校時） 3年テスト範囲発表（国数社理英）
26	火	冬季休業日 ～1月14日
		完 完全下校 再 再登校 16：30

学期末懇談
6～12日 14:00～
4時間授業
給食あり完 再

3年2組 三國沙矢香さん

最初に合唱練習を始めた時、音程もずれていて、息も合っていないし、サボって帰る人もいて「こんなんでも合唱コンに間に合うのかな」と思っていました。合唱コン当日。昼休みの最終練習の時、私は感動しました。これまでバラバラだった2組の気持ちがようやくひとつになり、これまではなかったハーモニーが生まれました。私の周りの人とも歌い終わったあと感動を共有しました。中には泣き出す人もいて、本当にこの「信じる」を選曲し皆で歌い上げてきて良かったなと思いました。結果は優秀賞でした。やはり3組のうまさは一品でした。ですが、私を含めて全員力を出し切ることができた発表だったと思います。最後にこのような発表をできて本当によかったです。良い思い出になりました。

3年3組 匂坂 航くん

合唱コンクールを終えて学んだことがあります。1つ目は、人にものを教える難しさです。僕がみんなに伝えたいことを、そのまま言っても、クラスに伝わりづらいことがあり、どんな言い方をしたら伝わるのか悩みました。また、歌の中で曲想が違ったり、発声が正しくない時にどうやって直させたらいいか。これも正直自信がありませんでした。人に伝える言い方や、理解してもらえそうな説明となるように工夫していくたびに、人にものを教えるのは難しいと痛感しました。2つ目は、全体でひとつのものを作り上げる楽しさです。始めのうちは遊んだりはいしゃいしたりしていましたが、練習に熱が入っていくうちにみんなが集中し、僕の細かなアドバイスにも反応してくれるようになりました。すると、みるみる歌が良くなっていったのです。こうなると、僕ももっと上を目指していくのが楽しくなってきました。このように全体で様々な課題を克服し、ひとつのものを磨くことが幸せでした。最後に、3年生で最後の合唱コンクールは練習から本番まで楽しかったです。最優秀賞を獲得したことはもちろんですが、それより悔いのない演奏ができたこと、2年5組に教えに行ったことなど、とにかく楽しかったです。そして、良い歌をとともに歌えたメンバーに感謝したいです。この最後の合唱コンクールを最高の形で中学校の思い出にすることができて、とてもうれしいです。

3年4組 原 瑤介くん

先週の金曜日、最後の合唱コンクールが行われた。前日の練習では、自分として納得のいく指揮ができた。学級としても前向きな姿勢が感じられることができたので、一安心していた。でも、いざ、当日になると緊張した。朝練でも、指揮が思うように振れず、小さくなってしまった。今回の合唱コンクールは、中学校最後だったので、知らないうちに気負ってしまい、興奮していたのだと思う。しかし、本番を目前にすると冷静になった。そして、結果は優良賞。不甲斐なさを感じさせない4組らしい姿だった。また、一つの通過点を越えることのできた4組に達成感が感じられ、これもまた一安心した。そして、より「入試」の2文字がはっきりと見えてきた今、前向きな姿勢で臨みたいと思う。